

8/21 稲田

## 統合司令部240人で発足

### 防衛省の概算要求案判明

#### 南西諸島へ輸送部隊新設

防衛省の2024年度予算の概算要求案が判明した。陸海空3自衛隊を「元的に指揮する常設の「統合司令部」を24年度末に240人規模で設置。南西諸島への装備や物資の輸送を迅速に行つたため、3自衛隊共同の部隊として「自衛隊海上輸送群」を新設する。関係者が20日、明らかにした。

艦艇や地上目標を攻撃する「精密誘導弾」を開発するため320億円を要求。国産の12式地対艦誘導弾の射程を延ばす「能力向上型」を艦艇に搭載する費用や、射程3千キロの「極超音速誘導弾」の量産費も求める。地上配備型迎撃システム

発の進捗状況を管理・監督する調整機関への拠出金も盛り込む。水上無人機を試験的に導入するほか、新型護衛艦や後方支援能力を強化した補給艦も建造する。防衛省は24年度予算概算要求に、過去最大の7兆円台の防衛費を計上する方向。装備品の部品不足解消や可動率向上に2兆円超を盛り込む。

「イージス・アンショア」計画の代替案として28年度までに整備する「イージス・システム搭載艦」2隻の建造費として約3800億円を計上。1隻当たりの整備費は計約3950億円となる。富崎県の航空自衛隊新田原基地にステルス戦闘機F35Bの飛行隊を新設。運用の柔軟性を向上させるため、海上自衛隊大湊地方隊（青森県）を改編し、横須賀地方隊（神奈川県）と統合する。防衛力強化を進めため、事務官約540人の増員も求める。

英国、イタリアと共同開発する次期戦闘機の開発費は約640億円。戦闘機開